

様式第1号

事業再評価シート

事業名	社会資本整備総合交付金事業		
箇所名	一般県道 益安平山線 平山区	市町村名	日南市

(上段()書きは当初計画)

実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単		
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度
	H16	H25	H27
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率(%)
			事業費 用地
	1,382	1,148	83% 100%
再評価の概要	対象選定理由		事業効果(B/C)
	事業採択後10年経過		3.7 継続

全体計画
<p>一般県道益安平山線は、日南市内の主要地方道日南高岡線との交差点から同市内の国道220号に至る延長約2.5kmの路線である。</p> <p>本路線は、現在施工区間の東九州自動車道日南ICの完成時には重要港湾油津港と当ICを結ぶ、市街地を迂回する最短のアクセス道路となる。</p>

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> ・全体延長 L=1.9km ・道路幅員 W=6.5(15.0)m (2車線)

事業目的
<p>○対象事業の目的・必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾油津港から東九州自動車道日南ICへのアクセス機能の強化。 ・本事業区間は日南市立東郷小中学校への通学路であり、歩行者の安全確保が必要。 <p>○計画での位置づけ</p> <p>第1次緊急輸送道路ネットワークに位置づけられている。</p> <p>○事業を継続する必要性</p> <p>本事業区間は、重要港湾油津港と東九州自動車道の日南ICを結ぶ道路のうち、市街地を迂回する最短のアクセス道路である。東九州自動車道 北郷～日南 がH29年度に供用予定であり、今後の経済の活性化や日南市内の交通ネットワークの向上を図るためにも、事業継続が必要である。</p> <p>また、通学路となっていることから、早期に歩道を確保する必要がある。</p>

事業の進捗状況

○現在の進捗状況、整備効果の発現状況

平成25年12月現在、用地の取得率は100%である。

また、現道拡幅部L=1,060mについては部分供用済である。なお、バイパス部L=860mの施工を残すのみであり、早期の供用を目指し事業を進めている。

○今後の事業進捗の見込み

河川事業と調整を図りながら、バイパス部の改良、舗装を実施し、平成27年度の完成を目指す。

社会情勢等の変化

○東九州自動車道の供用

東九州自動車道 北郷～日南間のH29年度供用が予定されていることから、それまでの整備は必須である。

事業効果の分析

○費用対効果

$B/C = 3.7$

○事業を継続することの事業効果分析

①東九州自動車道日南ICと重要港湾油津港のアクセス強化

②第1次緊急輸送道路ネットワークの整備

③通学路の確保

コスト縮減

特に無し。

代替案の可能性

事業費ベースで83%に達しており、残事業箇所は用地買収の完了したバイパス部であることから、路線変更等の代替案は困難である。

対応方針

継続

位置図 (管内図)

